



上末っ子

令和5年11月30日

12月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>



学校ホームページ用 QR コードです。学校の様子をご覧ください。

「児童支援専任」として

昨年度から児童支援専任を務めている帆足雄斗と申します。上末吉小学校に着任して7年目になります。児童支援専任は、上末吉小学校に通う全ての子どもたちの困ったことや悩みに対して相談にのったり、できるようになったことや成長したことを一緒に喜んだりしながら見守っていく役目を担っています。

よく子どもたちにも、「先生は何年生の先生なの?」とか「先生はいつもなにをしてるの?」などと聞かれますが、「先生は、上末吉小学校みんなの先生で、みんなのことを見守っているから困ったことやうれしいことがあったら、いつでも声をかけてね!」と言っています。

12月は、横浜市全体で「いじめ解決一斉キャンペーン」という取り組みを実施しています。

全校児童を対象にアンケートを行い、その結果を全職員で共有し、子どもたち一人ひとりの悩みや不安に耳を傾けます。アンケート結果から子どもたちに話を聞く場面を想定した研修も全職員で行っています。

例えば、「からかわれたり、わるぐちやいやなことをいわれたり することがありましたか?」という質問に対して「あった(今はない)」と回答したとします。この結果に対しても、「今はない」という現状に安心してそのままにするのではなく、「前はあった」という事実をしっかりと聞き取り、その子の不安や悩みを見逃さず向き合っていくように全職員で共有しました。

子どもたちにも、11月27日(月)の朝会で、

「12月は、いじめ解決一斉キャンペーンという取り組みを学校全体で行っていくので、不安なことや悩んでいることがあったら、先生たちに相談してほしい。また、友達同士でも、相手を傷つけ不安や悩みを増やすのではなく、相手を思いやり楽しさやよろこびいっぱいであふれる学校にしていこう。」と話をしました。保護者の皆様におかれましても、お子さんのことで悩んでいることや不安なことがありましたら、いつでもご相談ください。

児童支援専任としてもう一つ大きく取り組んでいることがあります。それは、**SNS との付き合い方**です。スマホやネットが普及し、本校の子どもたちもスマホをもっていたり、ネットをつないでゲームをしたりすることが増えてきました。SNSは、便利に使えば生活を豊かにしてくれますが、その分事件や事故に巻き込まれるリスクも高くなります。子どもたちには、その利便性や危険性も日々伝えています。

最近でいうと、「YouTube」「TikTok」「Instagram」といった動画や画像を載せながらネット上の人と繋がっていくアプリを使用している子どもたちが増えているという実態があります。初めは、動画や画像を見るだけだったのが、次第に自分で撮影して載せるようになった例もあるようです。そして、動画をネット上に載せてしまったためにトラブルに巻き込まれたという事件も市内で急増しています。

「Youtube や TikTok, Instagramなどは、13歳未満の利用を禁止しています。」これは、運営している会社から示されているきまりです。それだけのリスクがあることなのです。子どもたちにも伝えてはいますが、ぜひご家庭でもご理解いただき、お子さんともう一度 SNS との付き合い方について話し合ってみてください。また、お子さんのアカウントやスマホの中身についても確認してみてください。(ちなみに、LINE の利用推奨年齢も12歳以上とされています。子どもたちが LINE 利用によって巻き込まれるトラブルが多いことからそのように定められています。)

上末吉小学校に着任して7年。卒業生も含めてこれまで出会ってきた子どもたちは、とても素直で明るい子たちばかりでした。この素直さや明るさは、きっとご家庭でたくさんの愛情を注がれてできた上末吉小学校の子どもたちの良さだと思っています。そんな、子どもたちの良さが絶えることなく素直に明るくのびのびと過ごしていけるように、児童支援専任として日々子どもたちの様子を見守り、声をかけていこうと思います。

今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

児童支援専任 帆足 雄斗